| | |
|---|---|
| **教員名** | 新名　謙二　(NIINA　Kenji) |
| **所　属** | 文教育学部芸術・表現行動学科舞踊教育学講座 |
| **学　位** | 修士　(教育学)　(1991　東京大学) |
| **職　名** | 助教授 |
| **URL　／　E-mail** | niina@cc.ocha.ac.jp |

## ◆研究キーワード

スポーツ消費　／　時系列分析　／　グレンジャー因果性

## ◆主要業績

・Kenji Niina, Forecasting the Consumer Expenditure on Sport in Japan. -Applying Univariate Time Series Modeling-. Proceedings for Asian Association for Sport Management 2006 Conference.

## ◆研究内容

スポーツ消費の時系列分析
スポーツ関連支出の変動と経済全体の指標である GDP の変動との関連について分析を行った。これら指標の相互の影響には時間的ずれがあると考えられるので、時系列分析の枠組みの因果性分析（グレンジャー因果性分析）の手法を用いて検討を行った。1994 年以降の四半期データにより分析を行った結果、スポーツ支出の変動が GDP の変動に影響を及ぼすことはないことが明らかになった。GDP からスポーツ支出については、統計的に有意ではなかったが、影響が及んでいる可能性が示唆された。明確な結論を出すためにはより長期の分析や、時系列の取り方を変えた分析を行う必要がある。

## ◆教育内容

コア科目においては、必修科目である「スポーツ健康実習」の責任者として、授業を担当するとともに複数の担当教員間で円滑な役割分担ができるように環境整備を行った。
「スポーツ健康実習」はカリキュラム改正に伴う事業内容見直しの 2 年目であったが、大きなトラブルもなく実技と理論を融合した形の授業が順調に進んでいる。
専門科目においては、「スポーツ人間学」、「スポーツ人間学実験演習」、卒業論文の指導を通じて、スポーツ及び舞踊分野におけるマネジメントの考え方を学生に対して指導した。
卒業論文は 3 名の指導を行った。卒業論文の分野は下記の通りである。
文化・芸術政策　（1）
舞踊関連団体のマネジメント　（1）
劇場と地域との関連　（1）

## ◆将来の研究計画・研究の展望

スポーツ消費を説明する経済モデルの構築
国家レベルのスポーツマネジメントの比較研究

## ◆受験生等へのメッセージ

スポーツマネジメントの分野は現在多くの大学において取り組みが始まっている注目すべき分野です。残念ながら、スポーツマネジメントに関わる女性の数はまだまだ少数です。スポーツに興味を持っている人が集まることを期待します。